

令和6年第2回
久御山町教育委員会定例会
議事録

令和6年 第2回久御山町教育委員会定例会 議事録

1. 招集年月日 令和6年2月28日
2. 招集の場所 久御山町役場会議室23
3. 開 会 令和6年2月28日 午後1時00分開会宣告
4. 出席委員 内 田 智 子
寺 井 恵太郎
豊 田 美 幸
田 口 賀 彦

5. 職務のため出席した者の職氏名

教 育 次 長	中 務 一 弘
学校教育課長	前 山 雅 宏
生涯学習応援課長	星 野 佳 史
学校教育課長補佐	梶 原 哲 郎
学校教育課長補佐	内 田 明 子
生涯学習応援課長補佐	高 田 浩 史
書 記	迫 畑 美 沙

6. 付議案件

- 議案第2号 令和6年度教職員の管理職人事異動に伴う教育委員会の内申について
- 議案第3号 令和5年度久御山町一般会計補正予算（第6号）について
- 議案第4号 令和6年度久御山町一般会計予算について
- 議案第5号 旧山田家住宅の設置及び管理に関する条例施行規則一部改正について

7. 会議の経過

午後1時00分 開会

○内田教育長 ただいまから令和6年第2回久御山町教育委員会定例会を開催いたします。本日は阿部委員の欠席を伺っております。本日の議事録署名人は豊田委員でございます。前回の令和6年2月2日開催の第1回定例会議事録につきましては、先日配付させていただいて御覧頂いたと思います。よろしければ御承認いただきたいと思います。よろしゅうございますか。

○委員全員 はい。

○内田教育長 それでは第1回定例会議事録については承認されました。次に報告につ

いてでございます。本日、報告は3点させていただきます。まず、1点目でございますが、2月15日いきがい大学閉講式がございました。今年度は181名の申し込みがございまして、124名の方が5回以上出席いただいたということです。次年度もさらによりよい事業となるよう工夫を重ねていきたいと思っております。2点目でございますが、2月20日に第2回いじめ防止対策会議を有識者の皆様方にお集まりいただきまして開催いたしました。本年度もいじめの重大事態は本町では発生しておりませんが、本町の課題でございます不登校やいじめの未然防止・早期対応について御協議いただきました。3点目でございます。2月26日に第2回スポーツ協会事務執行のあり方検討委員会が開催されました。現在このスポーツ協会の事務執行について課題の洗い出し及び改善策の検討が行われているところでございます。3月下旬に第3回を予定しておりまして、その後、委員長から報告書の提出が町長の方になされる予定をしております。以上、報告とさせていただきます。それでは、本日の議題のうち議案第2号、教職員の管理職人事異動に伴う教育委員会の内申につきましては地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開といたします。

《非公開》

○内田教育長 それでは会議を再開いたします。続きまして議案第3号、令和5年度久御山町一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。事務局より説明を求めます。まず学校教育課、お願いいたします。

○梶原学校教育課長補佐 学校教育課の説明をさせていただきます。歳入です。こちらの方は繰越明許といたしまして、今年度の予算で、来年度使う予定というものを、金額を繰り越している分になります。小学校の保護者負担軽減事業と、中学校の保護者負担軽減事業ということで、40万円と225万円を繰り越しております。こちらにつきましては、物価高騰対策で児童生徒の学用品費の支援金という形で使わせていただく部分になります。それでまだ交付が終わってない方の金額を大体予想し、繰り越させていただいている分でございます。続きまして、補正の予算になります。府補助金、教育費府補助金です。子どもの給食臨時支援事業費補助金で、67万6千円が入ります。こちらの方は物価高騰対策の給食費として府の方から補助をいただく分になります。続きまして歳出になります。こども園費でございます。職員手当費、職員の人件費のうち、時間外勤務手当を200万円減額しております。その下、こども園の運営事業ということで、バスの借上料、120万円減額させていただいております。コロナが5類になりまして、バスの台数を減らすことができましたので、その分を減らさせていただいております。その下です、こども園の施設維持管理事業、委託料です。清掃と消防設備の保守点検ということで、75万円と16万5千円、減額させていただいております。こちらの方は入札した

ときの入札差金ということで減額させていただいております。次に教育費になります。事務局費として国際理解教育推進事業になります。共済費、社会保険料の給与改定があり、社会保険料が上がりましたので、11万6千円増額しております。国際交流基金の積立金ということで、1万4千円、こちらの方はワーウィック交流事業の積立金になります。その下、交通指導員・パトロール員の配置事業で、交通費について、1千円増額させていただいております。その下の教育相談事業費は共済費、社会保険料が、給料改定により、2万7千円増額させていただいております。その下の段になります。小学校学力向上対策事業の共済費、社会保険料について、109万4千円給料改定による減額です。こちらの方は、学力向上対策で社会保険料が不要になった分がありましたので減額しております。その下が小学校給食運営事業で社会保険料で5万2千円を給与改定で上げています。一番下の段になります。これ中学校費になります。中学校の給食運営事業でこちらの共済費、社会保険料で2万4千円の増額です。学校教育課の分につきましては以上です。

○内田教育長 説明が終わりました。質疑はございませんでしょうか？

○委員全員 はい。

○内田教育長 続きまして生涯学習応援課お願いいたします。

○星野生涯学習応援課長 生涯学習応援課分です。歳入のうち、諸収入ですが、いきがい大学の社会見学の個人負担金で43万円の減額でございます。いきがい大学の社会見学が終了しましたので、その精算をしたものです。続いて歳出になります。社会教育費の説明欄でございます。いきがい大学の実施事業で58万2千円の減額でございます。歳入同様、いきがい大学の社会見学に係る経費の精算を行ったものでございます。当初の参加人数を大きく見ておりまして、実際の参加人数が91人だったということで、差額分を精算したものでございます。次に町民文化祭事業で79万5千円の減額です。町民文化祭の事業終了に伴います精算でございます。会場の設営とその他業務といたしまして、警備の関係でございますけれども、ゆうホールで実施しましたので警備が必要なかったということで減額をさせていただいたものです。続きまして、ふれあい交流館運営事業で、546万8千円の減額です。こちらの方は、ゆうホールの駐車場西側土留め改修工事を5年度中に設計と工事を予定していたのですが、設計の入札が不調に終わりまして、それを再度入札をかけておりまして、今年度中の工事までの完了の目処が立たなかったものでございます。新年度早々に予算の方を要求しており、取りかかりたいと考えております。次に図書館運営事業でございまして、5万7千円の増額でございます。これは人事院勧告により、共済費の変更等により、共済費の増額があったものです。続いて、放課後児童健全育成事業で156万2千円の増額でございます。仲よし学級の国庫補助の精算は、次の翌年度に毎年返還させていただいておりまして、156万の支出が必要だということになりましたので、増額の補正をさせていただいております。細かく言

いますと1千246万3千円というのが4年度の歳入として入ってたんですけども、最終精算が、1千90万1千円ということで、差額分についてはもう既に受け取ってしまってるんですけども、返納する必要があるということで増額補正をしております。次に、くみやまマラソン実施事業でございます。残念ながら実施ができませんでしたので、その分の減額の補正をさせていただいております。最後に、総合体育館運営事業で139万3千円の減額でございます。こちらはメインアリーナのLED照明購入費用につきまして、入札を行った差金でございます。それを減額しております。以上説明とさせていただきます。

○内田教育長 説明が終わりました。質疑はございませんか。よろしゅうございますか。

○寺井委員 1つだけいいですか。この入札が不調っていうのは、参加が少なかったのか、物価高で金額を調整できなかったのか。

○星野生涯学習応援課長 予定してた価格よりも上の方で増えてしまいまして、もう一度設定させていただきました。

○寺井委員 わかりました。

○内田教育長 議案第3号について、御異議ございませんか。

○委員全員 はい。

○内田教育長 ないようですので、議案第3号について可決いたしました。続きまして議案第4号、令和6年度久御山町一般会計予算についてを議題といたします。事務局より説明を求めます。学校教育課お願いいたします。

○梶原学校教育課長補佐 令和6年度の主な事業ということで事業別に説明いたします。まず、こども園運営事業で3億46万9千円となります。こちらはこども園を運営していくに当たりましての経費となっております。こども園の給食運営事業ということで9千147万1千円計上しております。70周年記念の献立、物価高騰対策給食材料費補助というのが、新規事業として計上している部分であります。来年度、町制施行70周年になりますので、それに対しまして記念献立というのを実施していきたいと思っております。18万3千円を計上させていただいております。その下、物価高騰対策給食材料費が399万8千円。こちらの方は年度当初から計上させていただいている部分になります。こども園施設維持管理事業で3千719万1千円になります。こちらの中には、使用済み紙オムツ等の収集事業、来年度から、園内処理をさせていただき費用109万9千円となっております。こども園の保護者負担軽減事業13万7千円。こちらこども園の、園児に対しての保険で、スポーツ振興センターの共済掛け金を負担をさせていただいている分を計上させていただいております。こども園費については以上です。次に教育費になります。総額11億4千993万4千円となっております。国際理解教育推進事業2千251万2千円になります。ワーウィックとの交流事業等とALTの予算になります。来年度は受け入れの年になります。交通指導員・パトロール員の配置事業で757万8千

円。こちらは例年通りでございます。学校運営補助事業で71万6千円。こちらの方各種団体の方への負担金等で例年通り変わりありません。久御山学園推進事業で100万円です。先生方の自主研修していただく費用になります。教育相談事業で1千609万2千円となります。SSWの配置、SCの配置、臨床心理士の配置を、継続して行ってまいりたいと考えております。続きまして、学力向上対策事業3千77万2千円になります。中学生の学力アップ事業を継続して、トライによる、ゆめ☆スタ事業、474万4千円になります。教師力向上スーパーバイザーの配置、今年度からしておりますけれども、若干金額上がっております。今まで8か月分、長期の休みの時を除いておりますけれども12か月分にし、長期の休みの時にゆっくり指導していただけるということで学校の方から要望がありましたので増額しております。特別支援教育補助員配置事業で1千322万円になります。こちらの方も例年通りの予算になっております。その下、中学校の部活動支援事業で52万円計上しております。なかなか部活動の指導員の方が見つからないという、問題があるので、来年度も学校の方と相談していきたいと思っています。こちらは新規事業です。学校施設の維持管理事業2億1千69万4千円。学校の施設維持、小中学校の金額が入っております。まず、中学校の体育館の空調等設置の工事1億2千884万1千円。こちらは中学校の体育館に空調を設置していきます。太陽光発電と蓄電池を並行して工事をしていこうと思っています。来年の秋口から始められる形です。入札等ありますので、日程等は未定ということでよろしくお願ひします。学校保護者負担軽減事業1千792万円になります。こちらの方も例年通り保護者の負担軽減ということで経常経費になっております。学校図書館運営事業で1千158万1千円。学校図書館充実の司書の給与、図書購入費になっております。学校情報教育環境整備事業で3千950万6千円。こちらの方は継続してICT支援員の配置を行います。後につきましてはタブレットの保守等修繕の経費を見込んでおります。学校教育課につきましては以上になります。

○内田教育長 はい、説明が終わりました。質疑ございませんでしょうか。

○寺井委員 22ページの57番のこの紙オムツの回収ですかね。これちょっとこの近辺のね、市町の状況とこれを行うことによって、保護者に何かアンケートとか、そういうのはどうだったんですか。ちょっと状況だけ教えてもらいたい。

○内田学校教育課長補佐 保護者アンケートは取ってないんですけども、保育教諭に対してのアンケートは取りました。その結果なんですけれども、保育教諭につきましては衛生面が気になるとか、今までお持ち帰りいただいて、紙オムツの内容見て、保護者と保育教諭で健康状態を共有したいっていう意見が多かったです。ただ近隣の市町が、ここ1、2年でどんどん紙オムツの園内処分というのを始めましたので、うちも視察に行きまして八幡市の保育園の方へ、保育教諭と一緒にさせていただいたんですけども、そこで週6日の回収っていうところで、衛生面もクリアできるっていうところと、

あと保育教諭の負担も減る、それから保護者の負担も減る、紙オムツの間違いも減るってところでメリット面をすごくアピールされたので、実施するということになりました。

○寺井委員 保護者の方には何もあれってないんですか。こういうふうになってくるのはどうですかという、そういう問いかけは全然なかった。

○内田学校教育課長補佐 園長の方から何人かの保護者の方にも確認させていただいているんですけども、やはり園内処分にさせていただいた方がいいという意見がありました。

○前山学校教育課長 併せて議会の方でも同様の質問がありまして、それに対してもお答えをしています。それから文科省でしたか、昨年1月にも、できるだけ園内処分を推奨するというような形の通知も出てましたので、総合的に考えまして、来年度から行うという形にさせていただきました。

○寺井委員 それともう1ついいですか。ワーウィックの交流事業、これずっとしばらく中止になってて、今の予算っていうのは3年4年前からだいぶ金額が上がってるんですか。

○梶原学校教育課長補佐 そうですね。行くよりは、まだそんなにかからないんです。皆さんホームステイになりますので、宿泊費とかかかってこないですし、交通費とかも、駅までバス出して迎えに行く形になりますので、そんなに言うほど上がってはいないんです。

○寺井委員 そんなに負担が増えてないということですね。

○梶原学校教育課長補佐 再来年度は行く年なので飛行機代などの負担が増えてくるので、何百万っていう形で上がってくるんですけど、今回はそんなには上がってないです。

○前山学校教育課長 ちなみに9月に来てもらう予定です。1週間程度。第2週、第3週、1週間程度、5日間来てもらう予定にしています。今後ホームステイ先もちょっと探すことが必要になってきます。併せて、前回までは教員が引率してこられる教員のホームステイも合わせてたんですが、それは学校の先生が受け入れてたんです、今まで。そこはちょっと負担になるなということで、教員の方は今回はホテル。一応ホテルをとって、そっちに入ってもらおうかなというような形での予算にはさせていただいています。

○豊田委員 先生含め、ホームステイ先を募ってっていうことはしないんですか。

○前山学校教育課長 そうですね、もしできればいいかもしれませんがね、先生を。

○豊田委員 うちでもいいですよ。

○前山学校教育課長 そうですか。それならそれでいいのもありがたいですけど。

○豊田委員 また具体的にになってきたら言ってください。

○前山学校教育課長 ありがとうございます。

○寺井委員 それともう一ついいですか。中学校の部活の支援事業ですけど、これなかなか多分かなり苦勞されてると思いますけども、これは正直、謝礼なんですね、謝礼金として。

○前山学校教育課長 報償費です。

○寺井委員 これどうなんすか、実際問題、安いんですか、高いんですか。これも他の市町関係の基本的な金額なんですか。

○梶原学校教育課長補佐 時給換算になりますので、授業が終わってからのクラブの時間だけであったりとか、土日とかの引率に行ってもらおうとかっていう形なので、大体今1,700円ぐらいです。ただやはりやってもらうに当たりまして、学校の先生の免許持っていたりとか、例えば、武道とかいった段持ちで指導経験があるとか、安全にできるとかっていうところで、条件がついてきますので、なかなか当てはまる方がおられないっていうのは、学校の方から、伺っております。3時半ぐらいから大体5時ぐらいまでのその時間だけ空いてる方ってなかなか一般募集してもおられないんで、大体、学校の先生が兼ねるっていうことが多いので、なり手がいない状況です。

○豊田委員 大学生のOB、OGが一番時間、都合つけられるんじゃないですか。

○梶原学校教育課長補佐 大学生っていうとなかなか子どもの引率や怪我のことなども、当然ありますし、なかなかちょっと難しいところがありまして。

○豊田委員 教育大学に行ってる子とかね。それで3年ぐらいから20歳過ぎたくらいからっていう。

○梶原学校教育課長補佐 院生であったりとかね、教育の院生であったりとかはあるかもしれないですけど、なかなかちょっと。

○前山学校教育課長 そうですね、マッチングですね。

○豊田委員 産業大学の生徒さんとか、何か久御山町の色んな行事に、産業大学の生徒さんが、くみくくでしたっけ。

○内田教育長 kumink（クミンク）は、文教大学ですね。

○豊田委員 なんかそういう、つてを、ないわけじゃないんだったら、辿って。教育大学にも藤原先生行っておられるし、久御中卒業生で、うちの子どもの同級生も行ってますし。

○前山学校教育課長 中途半端な時間といえば時間なんですよね。教育大学の生徒が非常勤で学力充実とかいう形で来てはいただいたりしますので、部活までっていったらなかなか。来てくれればいいんですけどね。

○寺井委員 これはでももうずっとこの受身のままやったら、僕はずっとこのままと思いうし、やっぱり久御山町独自の何かやっぱりね、もう一つ、もう1ランク2ランク上のやっぱり何か。

○豊田委員 そういう人を探していないんだったら、何かそういう養成講座みたいなもの

を。その講座を修了したら、仮の久御山町の中でのなんかサブティーチャーみたいな資格を一応持ってもらうっていうような。

○前山学校教育課長 部活の地域移行とも絡んでるところがあります。併せて、中学校の中にはやっぱり部活を頑張りたいっていう先生もいたりするので、そこも人事異動によって変わったりするので、なかなかそこが継続的にずっとっていうところができる方とできない方、そういう顧問がいたりとか、その辺がマッチングしにくい。種目によっては、先生が関わってこられて、頑張ってるっていう方もおられますし。

○寺井委員 年度年度によってだいぶ変わってくるんですね。

○前山学校教育課長 そうなんです。

○豊田委員 地域住民の中からそういう人材を育てていくっていうような、何か他の市町村でね、何年も前にそういうようなことをされていて、それは部活動の指導じゃなくて、補助教員みたいな形で、授業中についていきにくい子の横についてするっていうようなそういう立場の人をお母さんたちの中で募って、ある程度、研修をさせていただいて、学校に入ってもらおうというようなことを実際されてるっていうの私ちょっとニュースで見たことあるんですけど、子育ても経験された世代の、辛抱強く教えてくれはってっていうような。そういう感じの。

○寺井委員 そこは地域性が多分出てくるところですね。

○豊田委員 久御山町狭いし。狭いからね、地域性といってもね、別に東角でも佐山までも行きますよって言われるんじゃないですか。

○寺井委員 コンパクトタウンですからね。ちょっとここから考えていく余地はいっぱいありそうですね。

○内田教育長 今、御意見いただきましたので、例えば教育委員会が中学校の部活動指導者を募集してます等、何らかの形で啓発していくという方向で考えたいと思います。

○豊田委員 はい。そうですね。学校の先生が、入って欲しくないって言われたら、そら、そうですね。お茶出したりせんなんかったりして、かえって手間やったりして。

○内田教育長 それでは他にはよろしいですか。

○豊田委員 さっきの紙オムツのことなんですけど、一応こういうようなことがあって、このような意図で回収させてもらうことになりましたというようなことを保護者の方にもそれはなんていうかありがたいとか、こういう観点があるんだっていうことで学んでいただけることだと思うんです。今までなんで集めてなかったのかって言ったら、こういうような思いがあって、集めていませんでしたって。それはその何とか施策が遅れたとかね、対応ができてなかったとかお金がなかったとかそういうことじゃなく、こういうような教育的な観点で持ち帰っていただいてましたって、今わかってくれてはるかもわからないんですけど、こういうようなメリットや、こういう思いがあって今回持ち帰ることしないで園内処理することにしましたっていうことで、やっぱりその、なん

かこうね、ありがたいなってこの子育てに関してサポートを受けてるんだとかちょっと立ち止まって考えるきっかけになるので、別に恩を売るとかじゃなく、このような状況はこのように思いのもとに生まれてるということをお知らせした方が、一つ一つのきっかけを有効に使って、子育てについての考えを深めてもらうというようなチャンスに利用していったらいいんじゃないかなと思うので。

○寺井委員 いやもうそれはもう一番いい意見です。

○内田教育長 現在作成中の文書の内容を教えてください。

○内田学校教育課長補佐 そうですね。もう2月の下旬に新入園児に対しての面談が始まっていますので、オムツの対象の園児の保護者に対しては保護者通知をお渡ししているところなんですけれども。内容的には、今までのお持ち帰りから園内処分にしましたっていうところで、ただ健康の共有については、今後も十分させていただきますというような通知内容にはなっています。

○豊田委員 ちょっと足していただいたらいいんじゃないでしょうか。

○内田教育長 保護者に説明するについても、こういう思いで実施してきたというあたりは大事だと思います。このオムツを媒体としながらやっぱり子どもの状況であったり子どもについて一緒に語るっていうことが大事だと思います。今、保育士さんたちは、形を変えて伝えていくと言っておられますので、またそのあたりも含めて、保護者にもその思いが十分伝わるように、お願いします。

○豊田委員 結局、伝わったことで、保護者の方の学びを引き出すっていうことが、意図だと思うので。

○内田教育長 サービスが良くなったというだけではなくてですね。

○豊田委員 そうなんですよね。

○内田教育長 ありがとうございます。田口委員、お願いします。

○田口委員 112番のスーパーバイザーって、今誰がやったはるんですかね、どこの大学。

○梶原学校教育課長補佐 中学校は長澤先生、小学校が黒川先生でこども園の方が大塚先生。

○田口委員 長澤先生っていうのはどこの大学の先生なんですか。

○内田教育長 中学校の校長だった長澤先生です。

○前山学校教育課長 指導主事もされていました。

○田口委員 黒川先生っていうのは。

○内田教育長 黒川由美先生です。

○田口委員 大塚先生はわかります。わかりました。若い先生がやっぱりね、増えたのと、もう1つは、どうしても自分たちだけでね、問題解決しようと思ったら、管理職忙しくしてはるし、なかなか言えへん時も、やっぱこうやってくれはったら、色んな

悩みを相談できるだろうし、ええなと思いました。もう1つは、中学校の空調やねんけどこれ今後やっぱ小学校も順次やっていかはるんですかね。

○中務教育次長 まだそこまでは、議論にはなってませんね。

○寺井委員 すごい金額ですもんね。

○田口委員 大きいからね。

○前山学校教育課長 思ったより大きかったですね。物価高騰がすごく影響してまして、当初想定してたよりかなり上がってしまいました。

○寺井委員 なかなか他の市町ではなかなかできない。

○前山学校教育課長 そうですね。世の中の流れはもうこうなってきたんですけども、これだけの金額になりますので、本当にどことも苦慮されてるようにはお聞きしてます。

○田口委員 それと最後、ICTの支援員っていうのは、これはもう、フルタイムじゃなくて、パートタイムですか。

○梶原学校教育課長補佐 パートタイムというよりも、週1回、学校の方から「こういうのを教えて欲しい」とか、「ここの使い方がわからない」という時に学校の方に行っていて、機械の使い方などのサポートをやってもらってます。

○田口委員 メンテナンスとかそんなんも併せてですか。

○梶原学校教育課長補佐 メンテナンスっていう形は、別の保守契約でしてまして、その使い方であったりとか、要はこういう使い方ありますよ、こんな表できひんやろうかってなったらこう使ってくださいっていうような感じですね。

○田口委員 なかなか長けた先生もたくさんいるんやけど、その先生にばかり頼ってられへんので、一番やっぱりこうやって専門家がいいたらそこにすっといけるんで、とてもいいと思いますんで、これ続けてくれはったらなと思いました。以上です。

○内田教育長 はい。他にはよろしいでしょうか。

○豊田委員 すいません、学校給食の運営事業のところなんですけど、この間、学校訪問させていただいた時に、牛乳が残る牛乳が残るってすごい聞きましたよね。牛乳は必要があって、そこに入ってると思うんです。だからそのカルシウムっていうことに対するもうちょっと意識っていうか、嫌いだからとか、飲まないわとかじゃなく、それは今、小学校どうされてるのかわからないんですけど、歯ブラシ持って行ってますよね。コップと歯ブラシと。中学校になると急に歯磨きの時間がなくなるんです。歯も同じように虫歯の危機にさらされてるのに、歯磨きの時間は私、中学校だってあって然るべきじゃないかなと思ったんですけど、時間の割り振りが、到底、何か割けないというようなことで。例えば外国の方とか、歯の治療が保険適用じゃないような国の方とかは、もうしっかり磨いてますよね、どんなおじいちゃんでも。出かけた先でも、ちょっと洗面所行って、歯磨いて、お昼ですよ、お昼の時間。だから、歯磨きっていうこととか、体作り

思春期の中学生なんかは一番大事な時期じゃないですか。そこで牛乳を残すとか、歯磨きの時間がそもそも学校のスケジュールに入っていないというのは、大事なことを忘れていてへんかなというか、歯磨きのことは今、急に言うんですけど、実際もう何年も前に、中学校でも歯磨きの時間、たとえ5分でも設けたらどうですかって言ったことはありますけど、スケジュール的に学校の時間割として難しいというようなことだったんですけど、これだけ学校に、補助金まで増やして、給食に力を注いでくださってるのに、牛乳残してたら何もならないなって私は思うんですよ。もったいないなって。だからカルシウムとかそういう自分の体作りということに対する、もうちょっと意識を子どもたちの中で上げられるような取り組みをされたらどうかなって。その話の流れとして、歯磨きって、今ちょっと申し上げたんですけど。どうかなって。

○前山学校教育課長 おっしゃる通りです。学校もかなり苦慮していただいています。

○田口委員 小学校はたいがい、飲みます。ほとんどは飲みますよ。

○豊田委員 何で飲まないのか。カルシウム、大事だと思うんですけど。何で飲まないんでしょうね。何で飲まないのってインタビューに行ったらどうですか。

○内田学校教育課長補佐 やはりご飯と牛乳が合わない。

○豊田委員 今に始まったことじゃない。小学生の頃、ずっと飲んでてね。

○内田学校教育課長補佐 やっぱり中学生になったら。そういうところの発信力っていうか、なんか反発力っていうか。そういうのが。

○豊田委員 そんなことは。

○寺井委員 それはあるかもしれんね。色んな味を覚えるから、中学校行ったら。

○豊田委員 歯磨きは無理ですか。

○内田教育長 中学校は洗面所がないのです。

○豊田委員 手洗い場がないんだ。

○前山学校教育課長 中学校は構造上。コロナの時も、手洗いを推奨する中で、やっぱり手洗い場がないっていうことが、ちょっとネックにはなってたというふうに聞いてます。

○豊田委員 一緒くたにね、結局、中学校のトイレ綺麗じゃないですか。広々して。しかもね、あのスリッパも履き替えずに入っていけるような感じで。

○前山学校教育課長 それをなかなかやりなさいっていうのは、難しいかなと思いますね。

○内田教育長 逆に言えば、歯を磨きたい人は磨いたらいいですよっていうような形だったらできると思います。

○前山学校教育課長 そうですね。

○内田教育長 そういう一言は、学校の中であってもいいと思います。

○豊田委員 トイレとか、あるいは公共の場の中で一番誰もが掃除したくない場所じゃ

ないですか。そこを何か、抵抗なく掃除できるようになるっていうことはすごく社会教育の上ではね、あの学校の中であっても、教育のなんていうか、学びのすごく大きな、あそこ、砦やと思うんですよ。トイレ綺麗にできるっていうことはすごく大事な意識作りの教材がそこにほったらかしになってるなっていつも思うんです。東角小学校のトイレはね、すごい綺麗なんです。中学校よりも。毎年そうなんです。ずっと前からではないんですけど、綺麗になっていってるんですよ。だから、そういうところをすごく私は評価したいなと思うんです。

○内田教育長 他にはございませんか。それでは生涯学習応援課の方お願いいたします。

○高田生涯学習応援課長補佐 生涯学習応援課の所管分について新年度予算の方、説明させていただきます。新規のところを説明させていただきます。新規で全世代・全員活躍まちづくりセンター運営事業ということで、こちらの方載せてございます。1千652万4千円です。こちらの内容といたしましては、開館準備関連の業務を継続して行いますとともに、センターの方で使います施設備品の購入につきましての債務負担行為の方を4千万円で計上をさせていただこうと考えております。続きまして、地域学校協働活動推進事業、地域学校協働活動推進員配置の説明をさせていただきます。ちょっとすいません、これを配らせていただきます。文科省の啓発チラシの一部を抜粋したものなんですけれども、こちらの方、上のポンチ絵を御覧いただきたいんですけれども、新年度にですね、ここに書いてます、ポンチ絵の真ん中に地域学校協働活動推進員っていう人のイラストがあるんですけれども、こちらの推進員さんをですね、町立学校のうち1校モデル校を選びまして、配置をしたいと考えています。具体的に言いますと、今各学校の方では学校運営協議会の方で、地域と一体になった運営はしていただいているんですけれども、例えば、地域の団体を例にとってみますと、高齢化ですとか、人と人との繋がり希薄化ですとか、活性化していない状況等があります。一方で学校の方は、いろいろな複雑化する社会に対応するために、学校の教育だけでは追いつかない部分もありますので、地域の人材、地域の教育力を学校現場にも生かしたいというふうなニーズがあります。今、学校運営協議会の中では、教頭先生がコーディネーター役をされて、地域の方との繋ぎ役をしていただいているんですけれども、今回この推進員さんを地域の方からですね、選出いたしまして、教頭先生が担っておられるような仕事にやっただく。そうすることで、より地域と学校との絆は構築といいますか、それに伴いまして、地域は地域で、もっとその学校を核にして、いろいろな活動の活性化に繋がればいいなど。学校は学校で従前から引き続いて、地域の教育力を教育現場の方にも生かせる。そういうふうな体制の構築ができないかなというふうなことで、新年度新たに予算の方を計上させていただきます。こちらの方が62万8千円になります。旧山田家住宅保存活用事業、主屋修理保存業務。事業全体でいきますと888万6千円なんですけど、主屋修理保存業務でみますと、500万円余りとなっています。従前から主屋、山田家住宅、経年劣

化等によりましてちょっと建物が傾いているというところですが、主屋・母屋につきまして、この劣化の速度を鈍化させるための工事を行います。専門家の方によりまして、適正な修繕に向けての設計の方を組みたいとのことで予算の方を計上させていただいています。新規の事業として、70周年の周年事業といたしまして、町民運動会体育大会事業の中で、京都サンガホームタウンデーを計上させていただいております。事業自体といたしましては369万円の予算に対しまして、周年事業につきましては49万4千円でございます。久御山町ですね、京都サンガのホームタウンとして登録をさせていただいているんですけれども、年に1回ホームタウンデーというのがございます。亀岡のスタジアムでもって久御山のPRができる特別な日なんですけれども、その日に京都サンガさんと連動いたしまして、町内の方を70周年にちなみまして、70人招待をしようという企画しております。それに絡みます予算がホームタウンデーの予算となっております。○星野生涯学習応援課長 ちょっと補足だけさせていただきます。高田の方から新規事業を中心に説明させていただきましたけれども、それ以外の事業につきましても少しだけ触れさせていただきたいと思います。子ども居場所作り事業は53万3千円で、これはまなび塾の補助のお金で、これは例年通りということです。平和学習推進事業3万8千円につきましては従前平和ポスターを募集しておったんですけれども、これを来年度からは学習ツアーというような形に変えて募集をしまして、ピースおおさかであるとかそういう平和に関係するような、子どもに限ったことじゃないんですけれども、御案内させていただくような事業にしようというふうに考えています。これにつきまして、ポスターを描かせることにつきましては行政評価委員さんの方から、それはどうなのかというようなことで、かなり御意見をいただきましたので、事業を改めたところです。いきがい大学につきましては例年通りの実施ということで、社会見学の行き先等が変わったりすることで予算の額の変動があります。それから歴史文化推進事業の歩くまち事業としましては、これはふるさと教室であるとか、古社を巡るツアー、これはもう継続して行っていきたいと思っております。家庭教育推進事業につきましては、親子で参加いただけるような子育て支援学級。毎回割と好評なんですけれども、これも継続して行っていきたいと思っております。町民文化祭事業125番でございますがこちらの方が70周年の冠が付くんですけれども、これは町全体で11月3日の日にその70周年の記念のイベントの方を今企画をしております、その中で文化祭の方も同時で開催をさせていただこうと考えておるところでございます。予算規模が例年より100万円ちょっと落ちてるんですけれども、舞台とかの設営費はこの中に含まれてないので、町全体の事業費の中で、その辺りを見るということで予算の額が減っておるというような状況です。ふれあい交流館運営事業につきましては先ほど出ました、土留め工事が次年度にいきましたのでその金額と、それからエレベーターの修繕工事、こういったものが入ってきます。この事業費の9千100万円余り、この金額は昨年よりも6千万円ぐらい上がってるんですけど

も、これは指定管理の文化スポーツ事業に対する人件費補助の金額が他所の事業に入っていたんですけども、こちらの方に持ってきましたので、それが大体4千500万円ぐらい。それと工事費と合わせて6千万円ぐらいアップしてるということで、持ち方については特に大きく変わるものではないです。図書館運営事業は例年通りの実施ということになります。放課後児童につきましても、基本的には会計年度任用職員の賃金の関係が少しアップしてるというぐらいで持ち方を変えることはございません。文化財保護事業につきましては、これは文化財保護審議会の報酬であるとか、文化財の補助金200万円ということで、昨年度からしますと1千700万円ぐらい減になったんですけどもこれは今年度、雙栗神社関係の大改修がございましたのでそれが終了につきまして、大幅に減額したということでございます。社会体育活動支援事業につきましてはこれはスポーツ推進委員の報酬であったりとかスポーツ協会の嘱託員の雇用、それからスポーツ協会の補助金になるところでございますけれども、協会の補助金についてはほぼ例年通りの金額でつけさせていただいております。少し金額が上がってるのは、中央公園が使えなくなることに伴いまして、代替のグラウンドをいろいろ探しているということがあります。サッカーが夜間、東角小学校のグラウンドを使用するため、そのスイッチの工事の金額が計上されています。それから総合体育館・町民プール運営事業につきましてはこれは従前、総合体育館運営事業と、この町民プール運営事業と別々にあったものを一本化しまして、両方の金額が載っております。ここにも指定管理の人件費等指定管理料が載っております。

○内田教育長 説明が終わりました。質疑の方はございませんか。

○寺井委員 地域学校協働活動推進員の配置ですね。これは試験的にされるんですね。これ何年ぐらい計画でされるんですか。

○高田生涯学習応援課長補佐 すごく具体的な計画といいますと、学校によってとか地域によっていろいろと実情も様々ですので、様子を見ながら、最終的には全町に広がればよいとは思ってるんですけども。

○寺井委員 僕の地域でも、僕が見ても学校運営協議会は、他の御牧とか、佐山ほどちょっとやっぱり弱いんですよ、はっきり言って。こういう推進員さんが本当にうまくとマッチングしてくれたら僕はいいと思うんですけども、この選ぶのもこの地域の東角の運営委員会の方が選べて、教育委員会が承認するという形なんですか。

○高田生涯学習応援課長補佐 そうですね。有償ボランティアで、協力をしていただこうと思ってるんですけども。主に事務作業とか、そういうふうなことで、繋ぎ役にさせていただけたらと思ってます。

○寺井委員 もう4月から。

○高田生涯学習応援課長補佐 団体というか各学校によって、スタート時期とかもまちまちですので、それに合った取り組み、スタートを切りたい、できるだけ早いことスタ

一トしたいとは思ってますけど。

○星野生涯学習応援課長 想定しておりますが基本的には既に学校運営協議会っていう活動でしっかりやっていただけてますので、その活動の団体の中から、そういったことをしていただける方を、何とか出してもらえないかというような形になっていくので、4月1日から動くということは難しいかなと思います。

○寺井委員 これはもう学校の方にはもう案内がいつている。

○星野生涯学習応援課長 各学校の校長先生なりには、説明には個別にお伺いさせていただきました。運営協議会の長の方にも一度来ていただきまして、説明の機会を持たせていただいています。

○寺井委員 多分これ難しい。僕は他の地域のことあんまりけども、うちの家内も学校運営協議会に入って、なかなかやっぱ東角で活動できてない。いいことだと思うんですけどね。徹底的に僕はやっぱり人選していただいて、やってもらいたいと思うんですけども、これが不発に終わる場合も多分、何かうにやうにやとして1年過ぎていくということが、多分なきにしもあらずやと僕は思います。そこはどれだけ教育委員会が、管理というか目配りしていけるか。多分大変だと思いますけど、結局1年何やったんやろかというようなことになりかねない場合も、多分。これ僕の地域だけのことをお話してはいますが、ただ、御牧とか佐山とかはもっとしっかりされてるかもしれないけども、もう正直きついこと言うかもしれないけど、はっきり言ってあんまり活動ができてない。うまいこといってないと思います。

○星野生涯学習応援課長 その辺ちょっと肝に銘じておきます。

○寺井委員 せっかくされるんやったら、せっかく地域のために子どものためになることやから、人選だけはしっかりしてもらいたいなというふうに思います。

○内田教育長 少し付け加えますと、久御山町はこのコミュニティスクールの形が先進的なんです。普通、学校運営協議会で話し合い、地域学校協働推進本部が実動部隊になるなど、別々の組織になってるのですが、久御山町の場合は理想的で、学校運営協議会自体が地域住民、保護者、PTA など色んな団体の方の長の方が集まってくださったということで、学校運営協議会兼地域学校協働推進本部というような動きになってます。ですから、学校運営協議会は、学校の課題について話し合っ、どのような手助けができるんだろうと熟議をする場であり、地域学校協働推進本部はそのために、誰がどのように活動するのかを考える実動部隊の部分なんですけど、どちらも兼ねていただいとすることで、非常に理想的ではあるんですけども、今課題となっているのは、高齢化されて次の担い手が見当たらないというあたりで、このコーディネーターさんが例えば校区全体にチラシなり、声掛けをしていただくような形をしていただいて、学校が核となって、地域のコミュニティが広がっていく、新たな支援者を生み出す役割をしていただけたらということをおもっています。確かに寺井委員がおっしゃるように、やり方を間

違えると本当に何をしているのかがわからないままになってしまうので、そのところは大事だなと思います。なので、例えば東角でいえば、芝生の水やり1つでも、PTAの方と学校運営協議会だけで、ものすごくやってくださってるんですけどね、それをもっともっと地域みんなに1日、夏休み中1回でも参加しませんかななどの声掛けなり、仕組みを作っていただく形で広げていただけないかと考えています。まずは手挙げていただくところが1地域ですので、そのやり方がある程度見て見極めていただきながら、他に広げていけたらと思っています。

○寺井委員 本来学校というのは、僕の考え方やけど、本当はPTAがね、PTAが柱なんです。PTAがあって、そこに保護者が一番にいて、その周りに青少協があって地域の方があってね、それが本来の姿だと僕は思うんやけど、それはもう今の時代は無理だから、こういう学校運営協議会みたいなのができて、その中にもPTAも取り込んでいってしまって、そういう形になったからね。今の日本のこの形のあり方が変わってきてるから、こういう運営になってきた学校運営協議会の方々に地域を支えてもらわないと、学校に行かないし、できたらこの1年頑張ってください、何かいい形でね、また来年再来年とうまい形にいけるようにしてもらいたいなと思います。

○内田教育長 他にございますでしょうか。

○豊田委員 私も同じところで、お伺いしようかなと思ってたんですけど、今教育長がおっしゃっていただいたように、私、学校運営協議会の長になる方と、今回新しく立たれるこの推進員さんとの境目がわからないなと思ってたんです。その長になられる、今学校運営協議会の長やってくださってる方っていうのを、結構自分のできる範囲で、できるだけ手を伸ばしてこうやってくださいって言っても既に推進員さんのような気持ちで持って活動してくださってると思うんです。だから、今おっしゃったように実動部隊と協議するその立場の人がもう一体になってるからっていうようなことで広報活動のような感じになるのかなって。また世代としては、結局学校運営協議会でも、円滑に進む時に問題になるのは、コミュニケーションのその仕方につまずくことで、世代が高齢化していくということは、例えばPTAとかで長になりましたって言って運営協議会に1年2年の間だけ入らる役職のお母さんたちとのコミュニケーションがうまくいかないことなんです。役が就いている間はそこに入ってるけど終わったって言って出ていくんです。そういう感じで、地域を全部を巻き込もうと思ったら今、寺井さんがおっしゃったみたいに、やっぱり本当だったら子育て世代・PTAが中心になってバックアップとして、おじいちゃんおばあちゃん世代が控えていてくださるといのはいいと思うんですけど、でも今はもう見渡しても時間もある、体力もある、経験もあるっていうおじいちゃんおばあちゃんが頑張ってくださってて、若い人たちは何か本当に目の前のことに必死になって右往左往してるっていう、学校運営協議会の中でもこの縮図があるんですけど。そこでその推進員さんが、どういう立場の方が立たれるのかわからない

けど、色んなところの間に挟まれて、ものすごく苦勞されると思うんですよ。でもコミュニケーション能力がないと務まらない、心の折れる、なんていうか、どこにも所属できないというか、あっちに行って話を聞きこっちに行って話を聞きってということは、結局何か八方美人のような立場に立たされて、何か苦勞されるんじゃないかなとかいろいろ目に浮かぶようで、孤独な立場になるんやろなって。どういう人がされるにせよ、すごいバックアップ体制をとっていないと、そしてまたこの方がここに書いてありますけどね、ビジョンを共有することが大事だということを書いてありますけど、久御山町の教育が向かうところ良くわかってくださってないと、せっかく苦勞していただくことの、出来上がってくるものの方向性がちょっとずれてたりしたら、せっかくの苦勞がもったいないので、本当に。できたらすごいことなんだけど、大変なことやろうなって思っ

○高田生涯学習応援課長補佐 先ほど課長も申しましたけれど協議会の代表の方とか、各校長先生とか、教頭先生とかとお話をする中で、ここやったらできそうかなというふうなところがありまして、そちらの方が左右両方を思っているところがあるんですけども、おっしゃってるみたいにバックアップは必要だなと思います。

○内田教育長 学校によって、この推進員さんの動きってというのは違うと思うんですよ。例えばですよ、神奈川県では、教室の一室を、この活動の場所として、そこに常駐されて、地域の方が来られてコミュニティの場所としてやっておられる地域もあるんです。でも本町では馴染まないかなとかいうようなことがあるので、久御山町では、御牧は御牧、東角は東角ならではの、コーディネーターさんのやり方があると思います。

○豊田委員 何か定義というかある程度この条件づけみたいなのは文科省から下りてきてるんですか。というのは、どうしても運営協議会の中の誰かとかってなったら、同じような仕事を協力してやってるのにあの人は金もらっているみたいな話になったらね、無償でこんなにやってくれるのっていうような方は運営協議会の中にもおられるわけなんです。でもコーディネーターっていう名前があるがゆえに、あの人だけもらってるとか、またもらってる人も悪いから、年度末にちょっと呼んでご馳走を食べに連れてったらなあかんとか、やっぱそうなるんですよ。一緒にやってるっていうことは自分だけもらってたら、自治会長さんでもそうなんです。自治会長さんには報酬は出るけど、会計とか副会長さんには出ないでやっぱり年度末になんかちょっと包もの持ってとか、山分けとか、変な気苦勞っていうか、そういうことにもならないように、このコーディネーターさんってのは、こういう立場の人でこういうことをやって然るべきっていうようなことがあれば、ちゃんとそれをこなしてるっていうことで、役職としてみんなが認めてくれるのであれば、その報酬があるとかないとかそういう話にそもそもなっていないと思うので、みんなと同じようなことをやって、ちょっと頑張ってるように見えるだけの人とかそういうふうにしらない方がいいのかなと思うんです。

○内田教育長 そういう意見をたくさんいただきましたので、反映させながら次年度よ

ろしくお願いします。よろしゅうございますか。それでは議案第4号を採決いたします。御異議ございませんか。

○委員全員 はい。

○内田教育長 それではないようですので議案第4号につきましては可決いたしました。続きまして、議案第5号、旧山田家住宅設置条例施行規則一部改正についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

○星野生涯学習応援課長 議案第5号でございます。条例施行規則一部改正ということでございまして、この4月から旧山田家住宅を指定管理による管理を行うということになりますので、その開館日の方が変わってきますので、この条例施行規則の中で、開館日を謳っているところがございまして、その改正を行うものでございます。従前2条にありました第1木曜日・第2土曜日・第3日曜日、月3日の開館日が、土日祝の開館になるということで、その辺りの規定の整備をさせていただくということでございます。以上です。

○内田教育長 説明が終わりましたけれども、質疑ございませんでしょうか。よろしゅうございますか。それでは議案第5号を採決いたします。御異議ございませんか。

○委員全員 はい。

○内田教育長 ないようでありますので、議案第5号につきましては可決いたしました。本日の議案は以上でございます。よって本日の定例会を閉会いたします。

午後2時23分 終了